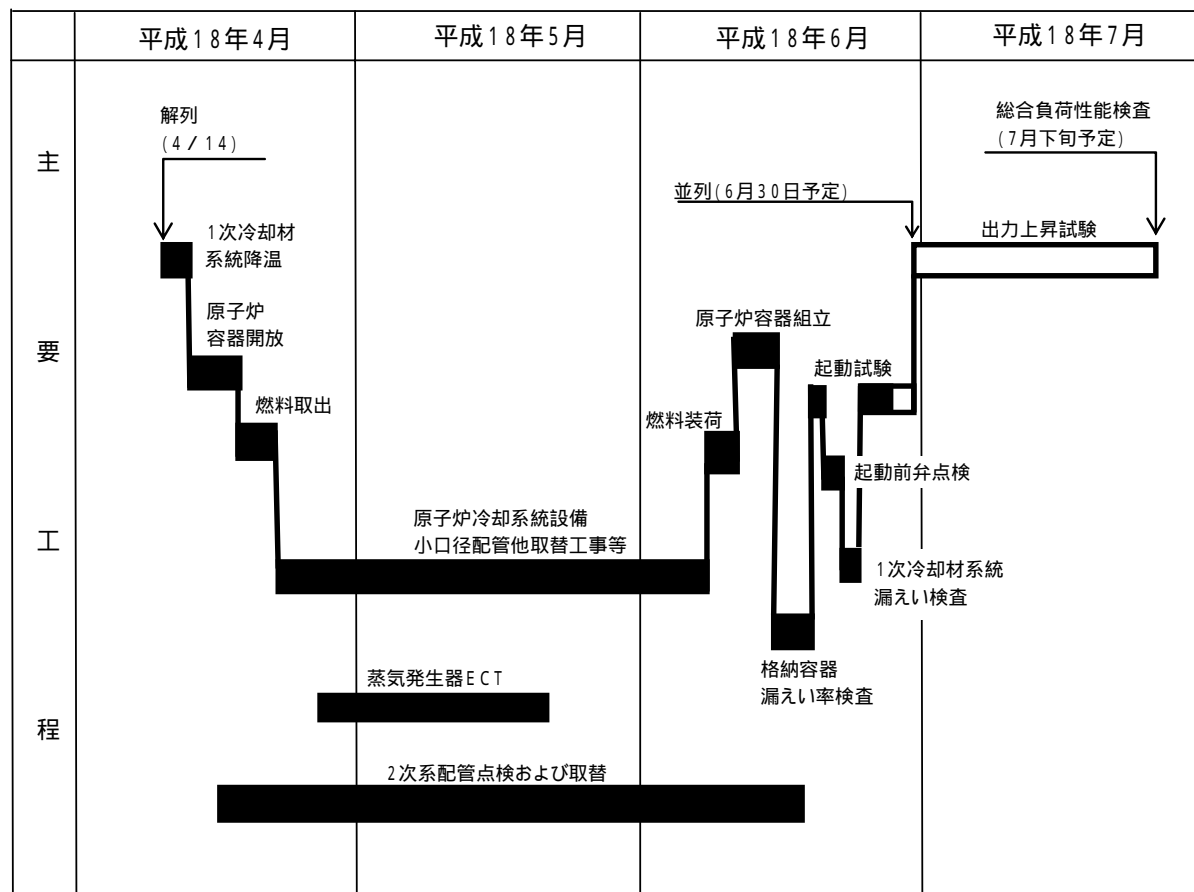


高浜発電所2号機 第23回定期検査の作業工程

平成18年4月14日から約3ヶ月の予定であり、以下の作業工程にて実施しています。

(平成18年6月27日現在)



: 黒塗りは実績を示す。

[参 考] 高経年化対策として実施する作業

蒸気発生器および原子炉容器の出入口管台600系ニッケル基合金使用部位特別検査

蒸気発生器および原子炉容器の出入口管台の金属表面に当該部位の損傷によるほう酸の付着がないことを目視により確認した。

高サイクル熱疲労割れに係る検査

通常運転時に高低温の内部流体が合流することによる温度ゆらぎが生じ、かつ応力集中が生じることにより、熱疲労割れが発生する可能性が高い部位の健全性を確認するため、余熱除去クーラバイパスライン接続部について、超音波探傷検査により欠陥がないことを確認した。

2次系配管検査

美浜3号機配管破損事故を踏まえた「高経年化プラントへの2次系配管肉厚管理の更なる充実」(平成16年11月25日 お知らせ済)に基づく、配管の肉厚測定を実施した。

コンクリート構造物検査

使用環境等によって圧縮強度の低下が生じる可能性のあるコンクリート構造物の構造健全性を確認するため、外部遮へい壁や取水構造物等、コンクリート代表部位表面の反発硬度を計測し、圧縮強度に急激な経年変化が生じていないことを確認した。

燃料取換クレーン他ロッキングカム検査

燃料取換クレーンおよび燃料ピットクレーンにおいて、燃料をつかむフィンガはロッキングカムにより作動するが、これらの摺動部はこすれにより磨耗する可能性があるため、ロッキングカム

とフィンガの間計測を行い、これらの機能に係る健全性を確認した。

原子炉格納容器トップドーム部検査

原子炉格納容器トップドーム部の健全性(有意な腐食の無いこと)を板厚測定により確認した。

以 上